

安定型処分場 公表する維持管理の好況に関する情報

【イ】 埋め立てた産業廃棄物の各月ごとの種類及び数量			
H27年 9月	取扱品目	単位	数量
		がれき類	m3
	ゴムくず	m3	0.0
	ガラス陶磁器くず	m3	562.0
	廃プラスチック類	m3	34.0
	鉄くず	m3	0.0

【ロ】 擁壁の点検に関する次に掲げる事項		
[1] 当該点検を行った年月日及びその結果	H27年9月5日	経緯説明
[2] 当該点検の結果、擁壁が破損するおそれがあると認められた場合に措置を講じた年月日及び当該措置の内容	一部法面崩壊	右記

【ハ】 残余容量の測定を行った年月日及びその結果	H27年7月31日	135,000.05 m3
--------------------------	-----------	------------------

【二】 展開検査に関する次に掲げる事項	
[1] 当該検査の各月ごとの実施回数	144 回 (品目別)
[2] 当該検査の結果、安定型産業廃棄物以外の廃棄物の付着又は混入が認められた年月日	無

【ホ】 水質検査に関する次に掲げる事項	
[1] 当該水質検査に係る地下水又は浸透水を採取した場所	別紙 平面図に明示
[2] 当該水質検査に係る地下水又は浸透水を採取した年月日	別紙 計量証明書
[3] 当該水質検査の得られた年月日	
[4] 当該水質検査の結果	

【ハ】 水質悪化時における生活環境の保全上必要な措置に関する次に掲げる事項	
[1] 当該措置を講じた年月日	無
[2] 当該措置の内容	無

【一部法面崩壊の経緯説明】

2015.7.17。台風11号上陸による暴風雨の影響から、当施設の埋立範囲最上流部法面附近に隣接する農業用水路(雁土井)が一時、排水能力超過をきたし水が溢れたことによる災害原因の一部法面崩壊があった。  
 農業用水路(雁土井)を流れる水は、近郊の河川から常時水を流入させ、農業用水として水の広域分配を可能にする機能を持つ。  
 古くから長期に渡り、機能不全に至ることなく下流域の耕地に水を送ってきたが、近年の降雨量の変化と、台風11号の突発的な雨量を加えた水量を正常に排水させる能力が限界を超え、崩壊事故に至った。  
 以降、2015.8.29現在に於いても復旧工事の為の現地立会や被害規模調査を進行させ、諸々の確認手続を実施している。  
 尚、この度の災害事故で関係者に死傷者はでていない。

【関係者】

(株)美建、雁土井土地改良区、北播磨県民局加古川流域土地改良事務所、加古川市地域振興部農林水産課土地改良係、近畿農政局、東播磨県民局林業課、東播磨県民局環境課

## 計 量 証 明 書

平成27年9月9日

株式会社 美 建  
八幡ランドフィル 様

環境計量証明事業登録 兵庫県計証第濃64号

有限会社 環 研

〒675-0011 兵庫県加古川市野口町北野1297番5

Tel. (079) 422-6448

Fax. (079) 422-0555

環境計量士(第環2771号) 林 鐵 男



貴依頼による計量結果を次の通り証明します。

試料名 浸透水

採取区分 貴採取

採取日 平成27年9月1日

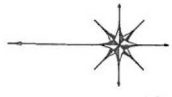
計 量 の 対 象	計 量 の 結 果	基 準 値	計 量 の 方 法
* 採取時刻	9:50	—	—
* 水温 (°C)	25	—	—
化学的酸素要求量(COD) (mg/L)	5.8	40	JIS K0102-17
生物化学的酸素要求量(BOD) (mg/L)	2	20	JIS K0102-21, 32.3
水銀及びその化合物 (mg/L)	0.00005 未満 (定量限界)	0.0005	昭和46年12月28日 環境庁告示第59号 付表3
カドミウム及びその化合物 (mg/L)	0.0003 未満 (定量限界)	0.003	JIS K0102-55.3
	以下余白		

備考:

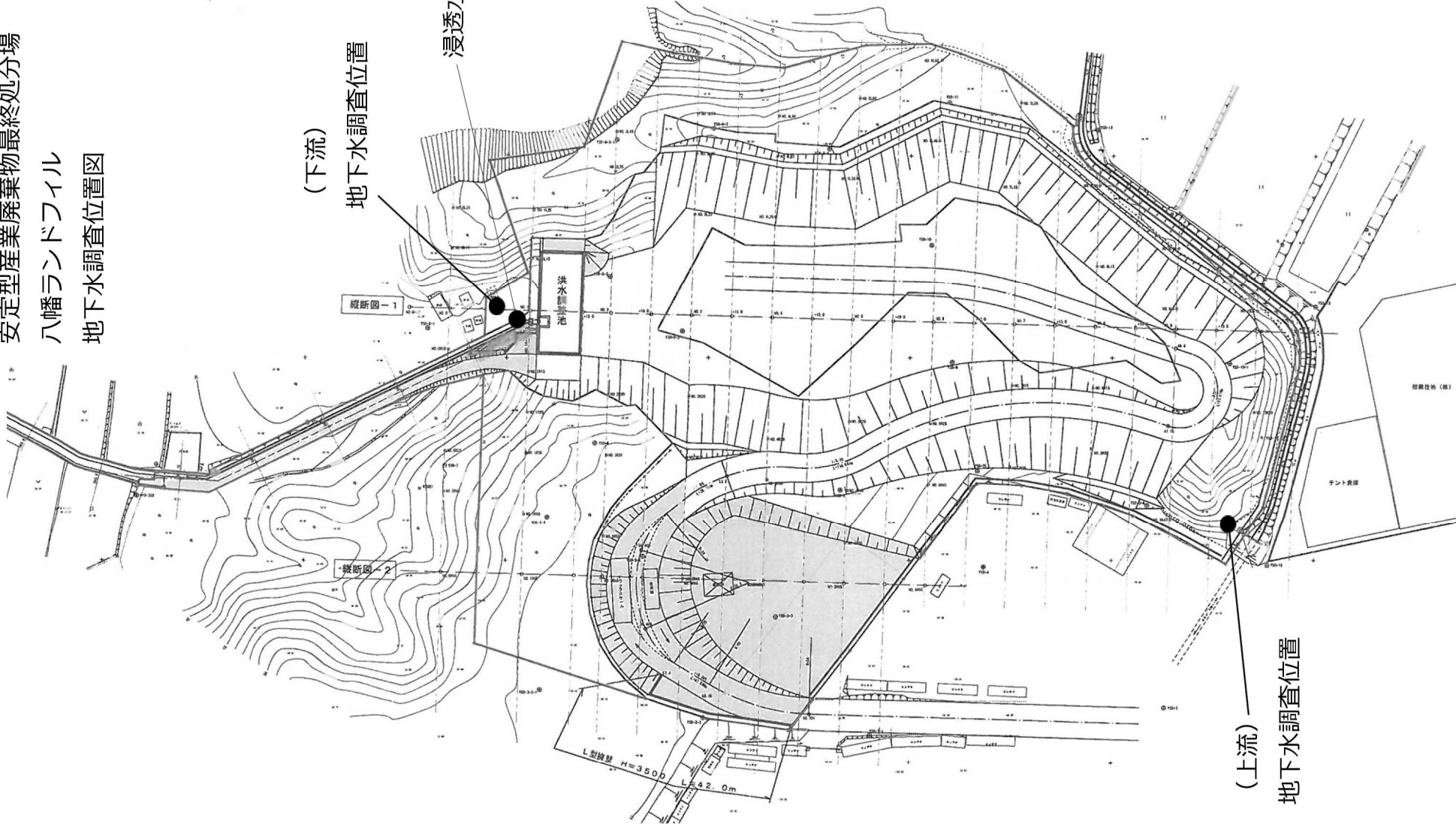
○9月採取分

(\*印の項目は、計量法第107条の対象外です。)

安定型産業廃棄物最終処分場  
八幡ランドファイル  
地下水調査位置図



(下流)  
地下水調査位置  
浸透水調査位置



(上流)  
地下水調査位置